

事業者名称 一般社団 食育スタジオDreamy

事業名 食農体験プロジェクト



<https://r.goope.jp/dreamy>

目的 食農体験を通じ、食べ物の背景を知る

- 植物がどのように育ち食べられるようになるのか、その過程を知ることで命の育みや食べ物の大切さを知ることができる。
- 自分の育てた野菜を収穫し調理まで通して体験することで、食べ物の背景を感じながら感謝して食べる気持ちが生まれ、情緒豊かな子どもに成長する。食農体験を通じて、生産者が日頃身をもって体験していることを参加者に伝え、参加者自身が同じ体験をすることで、農業や食への関心、理解を深め、生産者と参加者の交流を深める。

現状 農業体験の機会、生産者と消費者の交流の場が減少

- 市内の農地が減り、農業を体験したことがない市民が増えている。
- コロナ禍で室内でのイベントや大人数で集まることができないため、感染リスクの少ない野外での作業や、野菜栽培への関心が高まっている。

活動 自宅でできる野菜栽培の体験・収穫体験・クッキング講座

◆ミニトマトの栽培 10組参加
弊社スタッフにてミニトマトの鉢上げ
3日間に分け参加家族1組ごとにミニトマトの鉢植えをお渡し
グループLINEにて栽培指導、相談対応、成長報告

◆ミニチンゲン菜の種蒔き体験 12組参加
弊社ビニールハウウにて3日間に分け、種蒔き体験会を開催
各自持ち帰り自宅にて栽培
グループLINEにて栽培指導、相談対応、成長報告

◆夏野菜・冬野菜の収穫体験
弊社圃場にて1日1組限定、収穫体験を開催

◆クッキング講座
弊社スタジオにて、圃場で収穫した野菜を使用してクッキング



振り返り課題 本物に触れると五感が働き、心が動く！食べるのがもっと好きになる！

- 鉢植えやプランター栽培に変更したことで、土のない住まい（マンション等）の方も参加することができた。参加者には、予想以上に野菜栽培の大変さや収穫の喜びを感じてもらうことができた。野菜栽培を通じ家族の絆が深まり、子供たちが命の育みを感じ、地元の野菜に興味を持つ機会に繋がり、食農体験としての目標をしっかりと達成できたと思う。
- イベントや外出自粛が続く中、少人数での収穫&クッキング講座を開催できたため、多くの方に参加してもらうことができやりがいを感じた。
- まちづくりファンドをスタートさせて4年が経過し、当初赤ちゃんだった子供たちが成長して、家族で継続的に事業に参加、地域に密着した食育活動の推進に繋がっている。
- 次年度も引き続き収穫体験とクッキング講座は継続し、新たに使用していなかった圃場での農業体験の開催を予定している。既に圃場の水路の修復工事も終了し、定植する苗を育苗している。夏野菜収穫体験のために土壌分析をし、圃場の準備や播種も進行中である。
- 小中学校での調理実習ができない状況が続いているため「食」の自立に向け、トライアルプログラムを取り入れたクッキング講座も計画している。
- 農業体験として野菜の栽培と収穫と、調理体験を結びつけた企画を継続し、参加者の幅を広げていきたい
- 年間を通して収穫できる野菜を栽培し、スタジオレッスンで活用できるようにしていきたい。
- 市内の子育て世代の多くの方々が、気軽に足を運び農業体験をすることができる企画や、収穫仕立ての野菜を使用したスタジオレッスンを随時企画して参加者を増やしていきたい。